



松本栄一 議員 (白和)

危険な交差点の根本的改良を

答弁…危険性や舗装の状態に応じて対応する

問 御成街道から宮代町に向かう市道1-18号線と2-6号線の横断歩道に直径50cmほどのくぼみがあり、路面にはひび割れも発生し、歩行者や自転車の通行に危険がある。半年で4度の応急措置でくぼみを埋めているが、事故が発生する前に根本的に改良できないか。

答 舗装の経年劣化により、ひび割れや剥離が発生している箇所がある。市内全体の道路補修について、路面性状調査結果や舗装の状態を確認しながら補修工事を行い、維持管理に努めていく。



太田新井字北地内の市道

教育

全国学力テストと
GIGAスクール構想*

答弁…デジタルとアナログの両立を目指す

問 本年4月に全国学力・学習状況調査が小学6年と中学3年の国語、算数・数学で実施されたが、中学3年国語の平均正答率が過去最低であった。文部科学省は、読書や作文の指導を通じて、読解力や文章作成力の向上が必要だとしているが、本市の今後の指導方針は。

答 タブレット端末を活用した活動だけでなく、紙の本、紙のノートを活用した取組も重要である。デジタルとアナログの両方の良さを生かして、子どもたちが社会を生き抜く力を育み、将来に向けた可能性を広げていくことができるよう、積極的に取組を進めていく。

※児童・生徒に1人1台のコンピューター端末をはじめとするICT環境を整備する文部科学省の取組のこと。



菱沼あゆ美 議員 (公明党)

命を守る避難所にするためには

答弁…避難所の速やかな開設と有効活用を図る

問 指定避難所の鍵の管理が課題だ。デジタルキーボックスを設置し、地域の責任者と暗証番号を共有すれば、速やかな開設が可能になるのでは。エアコンの無い体育館は、猛暑や厳寒期は災害関連死などのリスクがある。教室と学童保育所の最大活用を検討すべきでは。

答 災害時において避難所の開設は最優先事項の一つであるため、デジタルキーボックス等の設置による速やかな開設を検討する。また、学校施設での教育活動の再開時期等を協議のうえ、空調設備のある教室や学童保育所の活用について、関連部署で検討していく。



篠津小学校の避難場所案内標識

福祉

市民目線の高齢者施策を

答弁…制度の利用につながるよう工夫していく

問 介護サービスが必要になった場合、早期に要介護認定につながる事が大事だ。市ホームページなどで、申請するタイミングの目安や相談窓口などの情報を分かりやすくする工夫が必要では。また、老人福祉センターに親近感がわくような愛称を付けては、いかがか。

答 介護サービスの紹介や要介護認定申請の仕方などにあたっては、単なる制度の説明にとどまらない、市民目線に立ったわかりやすい広報に努める。また、老人福祉センターに親しみを感じてもらえるよう、利用者の意見を聴きながら愛称を検討していく。